

移動支援 関連事業

雨竜町

～買い物支援に関する取組～

取組経緯

雨竜町においては、町内唯一のスーパー（生鮮食料品店）が急遽閉店することに伴い、日々の生活に欠かせない「買い物への支援」に関して、町としてできることは何かを考えた際、早急に対応できる支援策として、隣町のスーパーへの送迎を行うことにしました。

町内のスーパーの閉店から期間を空けずに支援を開始するため、役場内で作成した支援の具体的方針については、すぐに、町議会に対して説明を行い、町・町議会議員・社会福祉協議会・商工会・農業協同組合を構成員とした商業振興対策協議会を設置・協議を行った結果、町内のスーパーの閉店 5 日後から本取組を開始することができました。

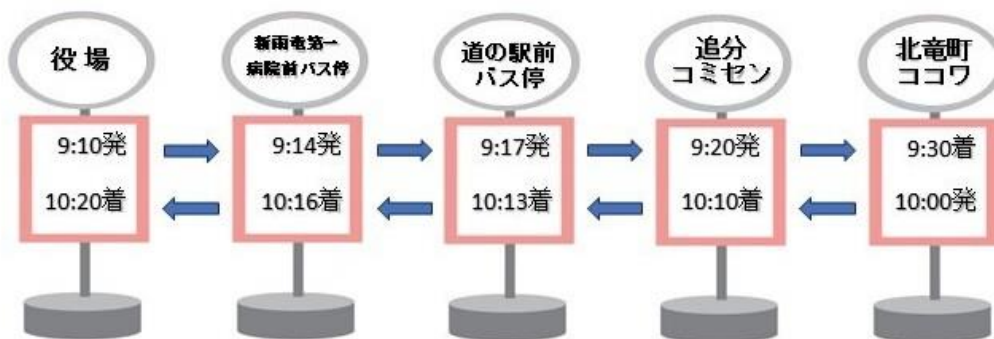


取組概要

毎週水曜日に 1 便、役場から隣町（北竜町）のスーパーまで（片道約9.5km）をバスで往復し、町民に対する買い物支援を行っています。

利用対象者は買い物に困っている方や車の運転に自信がない方等で、無料で利用することができます。

【バスの運行スケジュール】



使用しているバスは、元々、町の行事の時に使用しているものを活用しているほか、運転手は町長公用車の運転手や土木作業運転手の方をお願いしているとのことです。

受付やサポートのためにバスに乗車する職員 2 名は、役場内の全課から輪番で対応することとしているため、予算措置なく支援を行うことができているとのことでした。

送迎先スーパーの選定ポイント



送迎先のスーパーを北竜町の「ココワ」とした理由をお伺いしたところ、次のポイントで選定したとのことでした。

- 役場から近い
- 駐車場が広い（バスが駐車しやすい）
- 町にあったスーパーの規模に近い
（町にあったスーパーと比べ、ひと回り大きい程度の規模）

利用者や運転手の方々にお話を伺いました！

実際の品物を見て買いたい

毎週、利用しているという方にお話を伺いました。運転免許がないため、普段は町のコンビニを利用しているが、スーパーには、コンビニでは買えない地元の生鮮食品等も売っているので、お買物バスは非常にありがたい。

カタログ注文等もあるようだが、実際の品物を見て買いたいと思っているので、今後もお買物バスを利用する。



新たなコミュニティに

バスの運転手にもお聞きしました。

利用者の中には、お買物バスを通じて顔見知りになった方もいらっしゃるようです。

利用者同士が顔見知りになったことで、買い物がなくても、みんなの顔を見るためにバスに乗る方もいますので、お買物バスが町の新たなコミュニティになっていると思います。

今後の課題と展望

現在は、町内の道の駅やコンビニにおいても、肉や野菜等が買えるよう、販売商品を拡大いただいていると伺いました。

買い物に対する住民の困り感は様々ですが、利用状況や利用者の声からもお買物バスは必要な取組と評価しているところであり、引き続き、本支援を実施していきたいとのことでした。